

# ごとう通信

第 221 号

令和元年 5 月 1 日

皆さん、令和がやってきましたね。

まったく実感はわきませんが、これから毎日のように目にするのですね。なることでしょう。実は医療、介護業界では和暦の使用が多いので今月から頻繁に使うことになりました。

ちなみに先日届いた講演会の講師依頼状には講演日に「令和元年十月」と記載されていました。慣れていないので皇居にでも呼ばれた気分でした。

なんか平安朝とかの時代にありそうな名前ですね。

さて、昭和から平成になった時、僕は大学 4 年生。僕自身は 6 年制の大



学だったので卒業ではありませんでしたが、学生寮時代の同級生はその 3 月に卒業。まさに平成の申し子と言われた世代です。当時はバブル時代で日本が元気だった時代と言われています。ちなみに学生だった僕には関係のないことでした。

さて、平成の申し子世代として、令和への改元の感想は、「寂しい」です。自分の時代が終わったなあと思ってしまう。平成に入って歯医者になり、入れ歯の勉強もして訪問を始め、診療室も開業して…いろんなことをやってきました。終わってみると 30 年は早い。でも、これからは令和時代を支えるおやじとして頑張っていこうと思います。そういう世代ですから。それにしても改元のお祝い騒ぎ、

すごいですね。確かに平成になる時は昭和天皇ご崩御と同時だったので、お祝いムードではありませんでした。天皇陛下が退位されて改元、そしてお祭り騒ぎ。まさに歴史的な瞬間ですね。

## 文章

これまでもいろいろ文章を書く機会があり、今でも月に原稿を何本か書いています。まあ、本の出版などもあるので人よりは多く書いている方かなあとは思いますが。ただ、ここ最近はやや文章も浮かばず、原稿の締め切り前はかなり大変なことに…。もう年だからしょうがないかなあと思っていました。ある方が、文章は